

掲載頁	誤	正	コメント																																												
第2章 工事費の積算 2節 間接工事費 P2-2-2	<p>(2) 共通仮設費率の補正</p> <p>① 施工地域、工事場所による補正 施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正は、「表-① 共通仮設費率」により求めた率に下表の補正値を加算する。</p> <p style="text-align: center;">表-2 施工地域等別の共通仮設費率補正表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事場所区分</th> <th>補正値(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">市街地に係る漁港漁場</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山間地域及び離島に係る漁港漁場</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他の 漁港漁場</td> <td>工事場所が一般交通等の影響を受ける場合</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>工事場所が一般交通等の影響を受けない場合</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注)1. 施工地域の区分は、以下のとおりとする。 市街地に係る漁港漁場 : 施工地域が人口集中区域(DID地区)及びこれに準ずる地区の漁港漁場をいう。 山間地域及び離島に係る漁港漁場: 施工地域が人事院規則における特地勤務手当を支給するために指定した地域にある漁港漁場及びこれに準ずる漁港漁場をいう。 その他の漁港漁場 : 施工地域が上記以外の漁港漁場をいう。</p> <p>2. その他の漁港漁場における工事場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通等の影響を受ける場合: ①工事場所において、船舶交通・一般交通の影響を受ける場合 ②工事場所において、地下埋設物件の影響を受ける場合 ③工事場所において、50m以内に人家等が連なっている場合。</p> <p>②海上輸送に要する補正 海上作業がある工事については、現場労務者、現場従業員および作業船乗組員等の海上輸送費用として「表-①共通仮設費率」により求めた率に下表の補正値を加算する。 なお、海上作業とは現場労務者、現場従業員および作業船乗組員が陸路で直接現場までの移動が困難な場合をいう。 陸上作業と混在する場合の計上の有無の判断基準は海上作業の有無によるものとし、海上作業がある場合は、補正係数を乗じるものとする。 また、現場条件や施工内容により、別途計上できるものとする。</p> <p style="text-align: center;">表-3 工種区分別の共通仮設費率補正表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">工種区分</th> <th>補正値(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">漁港漁場関係工事</td> <td>浚渫工事</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td>構造物工事</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 海岸工事(水産庁所管)について、海上作業がある工事は、別途計上するものとする。</p> <p>③共通仮設費率補正の計算 共通仮設費率=共通仮設費率(Kr)×海上輸送に要する補正係数+施工地域、工事場所による補正値 (小数第3位四捨五入)</p>	施工地域・工事場所区分		補正値(%)	市街地に係る漁港漁場		1.5	山間地域及び離島に係る漁港漁場		1.0	その他の 漁港漁場	工事場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.5	工事場所が一般交通等の影響を受けない場合	-	工種区分		補正値(%)	漁港漁場関係工事	浚渫工事	1.28	構造物工事	0.6	<p>(2) 共通仮設費率の補正</p> <p>① 施工地域、工事場所による補正 施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正は、「表-① 共通仮設費率」により求めた率に下表の補正値を加算する。</p> <p style="text-align: center;">表-2 施工地域等別の共通仮設費率補正表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事場所区分</th> <th>補正値(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">市街地に係る漁港漁場</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">山間地域及び離島に係る漁港漁場</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他の 漁港漁場</td> <td>工事場所が一般交通等の影響を受ける場合</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>工事場所が一般交通等の影響を受けない場合</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注)1. 施工地域の区分は、以下のとおりとする。 市街地に係る漁港漁場 : 施工地域が人口集中区域(DID地区)及びこれに準ずる地区の漁港漁場をいう。 山間地域及び離島に係る漁港漁場: 施工地域が人事院規則における特地勤務手当を支給するために指定した地域にある漁港漁場及びこれに準ずる漁港漁場をいう。 その他の漁港漁場 : 施工地域が上記以外の漁港漁場をいう。</p> <p>2. その他の漁港漁場における工事場所の区分は以下のとおりとする。 一般交通等の影響を受ける場合: ①工事場所において、船舶交通・一般交通の影響を受ける場合 ②工事場所において、地下埋設物件の影響を受ける場合 ③工事場所において、50m以内に人家等が連なっている場合。</p> <p>②海上輸送に要する補正 海上作業がある工事については、現場労務者、現場従業員および作業船乗組員等の海上輸送費用として「表-①共通仮設費率」により求めた率に下表の補正係数を乗じるものとする。 なお、海上作業とは現場労務者、現場従業員および作業船乗組員が陸路で直接現場までの移動が困難な場合をいう。 陸上作業と混在する場合の計上の有無の判断基準は海上作業の有無によるものとし、海上作業がある場合は、補正係数を乗じるものとする。 また、現場条件や施工内容により、別途計上できるものとする。</p> <p style="text-align: center;">表-3 工種区分別の共通仮設費率補正表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">工種区分</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">漁港漁場関係工事</td> <td>浚渫工事</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td>構造物工事</td> <td>1.68</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 海岸工事(水産庁所管)について、海上作業がある工事は、別途計上するものとする。</p> <p>③共通仮設費率補正の計算 共通仮設費率=共通仮設費率(Kr)×海上輸送に要する補正係数+施工地域、工事場所による補正値 (小数第3位四捨五入)</p>	施工地域・工事場所区分		補正値(%)	市街地に係る漁港漁場		1.5	山間地域及び離島に係る漁港漁場		1.0	その他の 漁港漁場	工事場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.5	工事場所が一般交通等の影響を受けない場合	-	工種区分		補正係数	漁港漁場関係工事	浚渫工事	1.28	構造物工事	1.68	
施工地域・工事場所区分		補正値(%)																																													
市街地に係る漁港漁場		1.5																																													
山間地域及び離島に係る漁港漁場		1.0																																													
その他の 漁港漁場	工事場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.5																																													
	工事場所が一般交通等の影響を受けない場合	-																																													
工種区分		補正値(%)																																													
漁港漁場関係工事	浚渫工事	1.28																																													
	構造物工事	0.6																																													
施工地域・工事場所区分		補正値(%)																																													
市街地に係る漁港漁場		1.5																																													
山間地域及び離島に係る漁港漁場		1.0																																													
その他の 漁港漁場	工事場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.5																																													
	工事場所が一般交通等の影響を受けない場合	-																																													
工種区分		補正係数																																													
漁港漁場関係工事	浚渫工事	1.28																																													
	構造物工事	1.68																																													

令和4年度 漁港漁場関係工事積算基準 正誤表

掲載頁	誤	正	コメント																																																																																																																																																								
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本体工 4.3 場所打式 P3-4.3-15	(3) 水中不分離性コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10m ³ 当り <table border="1" data-bbox="293 248 1032 719"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">設計日当打設量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th>50m³ 積</th> <th>50m³ 以上 100m³ 積</th> <th>100m³ 以上</th> </tr> <tr> <th colspan="3">標準日打設量</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>31</td> <td>69</td> <td>180</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中不分離性コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="3">10.6</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td><u>D180PS型</u> 3~5t吊</td> <td>"</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.9</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>水中不分離性 混和剤現場添加</td> <td>"</td> <td>(0.3)</td> <td>(0.2)</td> <td>(0.1)</td> <td>注)2. 参照</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要	50m ³ 積	50m ³ 以上 100m ³ 積	100m ³ 以上	標準日打設量						31	69	180		水中不分離性コンクリート		m ³	10.6			割増しを含む	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間	潜水士船	<u>D180PS型</u> 3~5t吊	"	0.1	0.1	0.1	就業8H	世話役		人	0.3	0.1	0.1		特殊作業員		"	0.4	0.2	0.1		普通作業員		"	0.9	0.4	0.2		普通作業員	水中不分離性 混和剤現場添加	"	(0.3)	(0.2)	(0.1)	注)2. 参照	雑材料							(3) 水中不分離性コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10m ³ 当り <table border="1" data-bbox="1189 248 1928 719"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">設計日当打設量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th>50m³ 積</th> <th>50m³ 以上 100m³ 積</th> <th>100m³ 以上</th> </tr> <tr> <th colspan="3">標準日打設量</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>31</td> <td>69</td> <td>180</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中不分離性コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="3">10.6</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td><u>D270PS型</u> 3~5t吊</td> <td>"</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.9</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>水中不分離性 混和剤現場添加</td> <td>"</td> <td>(0.3)</td> <td>(0.2)</td> <td>(0.1)</td> <td>注)2. 参照</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要	50m ³ 積	50m ³ 以上 100m ³ 積	100m ³ 以上	標準日打設量						31	69	180		水中不分離性コンクリート		m ³	10.6			割増しを含む	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間	潜水士船	<u>D270PS型</u> 3~5t吊	"	0.1	0.1	0.1	就業8H	世話役		人	0.3	0.1	0.1		特殊作業員		"	0.4	0.2	0.1		普通作業員		"	0.9	0.4	0.2		普通作業員	水中不分離性 混和剤現場添加	"	(0.3)	(0.2)	(0.1)	注)2. 参照	雑材料							
名称	形状寸法				単位	設計日当打設量			摘要																																																																																																																																																		
						50m ³ 積	50m ³ 以上 100m ³ 積			100m ³ 以上																																																																																																																																																	
		標準日打設量																																																																																																																																																									
			31	69	180																																																																																																																																																						
水中不分離性コンクリート		m ³	10.6			割増しを含む																																																																																																																																																					
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間																																																																																																																																																					
潜水士船	<u>D180PS型</u> 3~5t吊	"	0.1	0.1	0.1	就業8H																																																																																																																																																					
世話役		人	0.3	0.1	0.1																																																																																																																																																						
特殊作業員		"	0.4	0.2	0.1																																																																																																																																																						
普通作業員		"	0.9	0.4	0.2																																																																																																																																																						
普通作業員	水中不分離性 混和剤現場添加	"	(0.3)	(0.2)	(0.1)	注)2. 参照																																																																																																																																																					
雑材料																																																																																																																																																											
名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要																																																																																																																																																					
			50m ³ 積	50m ³ 以上 100m ³ 積	100m ³ 以上																																																																																																																																																						
			標準日打設量																																																																																																																																																								
			31	69	180																																																																																																																																																						
水中不分離性コンクリート		m ³	10.6			割増しを含む																																																																																																																																																					
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間																																																																																																																																																					
潜水士船	<u>D270PS型</u> 3~5t吊	"	0.1	0.1	0.1	就業8H																																																																																																																																																					
世話役		人	0.3	0.1	0.1																																																																																																																																																						
特殊作業員		"	0.4	0.2	0.1																																																																																																																																																						
普通作業員		"	0.9	0.4	0.2																																																																																																																																																						
普通作業員	水中不分離性 混和剤現場添加	"	(0.3)	(0.2)	(0.1)	注)2. 参照																																																																																																																																																					
雑材料																																																																																																																																																											
第3章 直接工事費の施工歩掛 10節 埋立工 P3-10-15	(3) 排砂管設置・撤去 代価表中の船種・規格区分は以下による。 [1] ポンプ浚渫船鋼D2,250~8,000PS型の場合 [2] ポンプ浚渫船鋼D1,350PS型、およびバージアンローダ船、空気圧送船の場合 ①排砂管(海底管)設置・撤去 60m当り <table border="1" data-bbox="304 916 1021 1283"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">船種・規格区分</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>[1]</th> <th>[2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D t吊</td> <td>日</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>台船</td> <td>鋼200t積</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td><u>D180PS型</u> 3~5t吊</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D250PS型</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>(前)25t吊</td> <td>"</td> <td>0.7</td> <td>0.5</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td>5.0m³/min</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>9.4</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸	単位	船種・規格区分		摘要	[1]	[2]	揚錨船	鋼D t吊	日	0.5		就業8H	台船	鋼200t積	"	0.5		"	潜水士船	<u>D180PS型</u> 3~5t吊	"	0.5		"	引船	鋼D250PS型	"	0.5		運2H/就8H	引船	鋼D200PS型	"	0.5		"	ラフテレンクレーン	(前)25t吊	"	0.7	0.5	標準運転時間	空気圧縮機	5.0m ³ /min	"	0.5			普通作業員		人	9.4	6.5		雑材料						(3) 排砂管設置・撤去 代価表中の船種・規格区分は以下による。 [1] ポンプ浚渫船鋼D2,250~8,000PS型の場合 [2] ポンプ浚渫船鋼D1,350PS型、およびバージアンローダ船、空気圧送船の場合 ①排砂管(海底管)設置・撤去 60m当り <table border="1" data-bbox="1200 916 1917 1283"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">船種・規格区分</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>[1]</th> <th>[2]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D t吊</td> <td>日</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>台船</td> <td>鋼200t積</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td><u>D270PS型</u> 3~5t吊</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D250PS型</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン</td> <td>(前)25t吊</td> <td>"</td> <td>0.7</td> <td>0.5</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td>5.0m³/min</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>9.4</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状	単位	船種・規格区分		摘要	[1]	[2]	揚錨船	鋼D t吊	日	0.5		就業8H	台船	鋼200t積	"	0.5		"	潜水士船	<u>D270PS型</u> 3~5t吊	"	0.5		"	引船	鋼D250PS型	"	0.5		運2H/就8H	引船	鋼D200PS型	"	0.5		"	ラフテレンクレーン	(前)25t吊	"	0.7	0.5	標準運転時間	空気圧縮機	5.0m ³ /min	"	0.5			普通作業員		人	9.4	6.5		雑材料																																		
名称	形状寸				単位	船種・規格区分		摘要																																																																																																																																																			
		[1]	[2]																																																																																																																																																								
揚錨船	鋼D t吊	日	0.5		就業8H																																																																																																																																																						
台船	鋼200t積	"	0.5		"																																																																																																																																																						
潜水士船	<u>D180PS型</u> 3~5t吊	"	0.5		"																																																																																																																																																						
引船	鋼D250PS型	"	0.5		運2H/就8H																																																																																																																																																						
引船	鋼D200PS型	"	0.5		"																																																																																																																																																						
ラフテレンクレーン	(前)25t吊	"	0.7	0.5	標準運転時間																																																																																																																																																						
空気圧縮機	5.0m ³ /min	"	0.5																																																																																																																																																								
普通作業員		人	9.4	6.5																																																																																																																																																							
雑材料																																																																																																																																																											
名称	形状	単位	船種・規格区分		摘要																																																																																																																																																						
			[1]	[2]																																																																																																																																																							
揚錨船	鋼D t吊	日	0.5		就業8H																																																																																																																																																						
台船	鋼200t積	"	0.5		"																																																																																																																																																						
潜水士船	<u>D270PS型</u> 3~5t吊	"	0.5		"																																																																																																																																																						
引船	鋼D250PS型	"	0.5		運2H/就8H																																																																																																																																																						
引船	鋼D200PS型	"	0.5		"																																																																																																																																																						
ラフテレンクレーン	(前)25t吊	"	0.7	0.5	標準運転時間																																																																																																																																																						
空気圧縮機	5.0m ³ /min	"	0.5																																																																																																																																																								
普通作業員		人	9.4	6.5																																																																																																																																																							
雑材料																																																																																																																																																											

(2) 共通仮設費率の補正

① 施工地域、工事場所による補正

施工地域、工事場所を考慮した共通仮設費率の補正は、「表－① 共通仮設費率」により求めた率に下表の補正値を加算する。

表－2 施工地域等別の共通仮設費率補正表

施工地域・工事場所区分		補正値(%)
市街地に係る漁港漁場		1.5
山間地域及び離島に係る漁港漁場		1.0
その他の漁港漁場	工事場所が一般交通等の影響を受ける場合。	1.5
	工事場所が一般交通等の影響を受けない場合	—

注)1. 施工地域の区分は、以下のとおりとする。

- 市街地に係る漁港漁場 : 施工地域が人口集中区域（D I D 地区）及びこれに準ずる地区の漁港漁場をいう。
- 山間地域及び離島に係る漁港漁場 : 施工地域が人事院規則における特地勤務手当を支給するために指定した地域にある漁港漁場及びこれに準ずる漁港漁場をいう。
- その他の漁港漁場 : 施工地域が上記以外の漁港漁場をいう。

2. その他の漁港漁場における工事場所の区分は以下のとおりとする。

- 一般交通等の影響を受ける場合：①工事場所において、船舶交通・一般交通の影響を受ける場合
- ②工事場所において、地下埋設物件の影響を受ける場合
- ③工事場所において、50m以内に人家等が連なっている場合。

② 海上輸送に要する補正

海上作業がある工事については、現場労務者、現場従業員および作業船乗組員等の海上輸送費用として「表－① 共通仮設費率」により求めた率に下表の補正係数を乗じるものとする。

なお、海上作業とは現場労務者、現場従業員および作業船乗組員が陸路で直接現場までの移動が困難な場合をいう。

陸上作業と混在する場合の計上の有無の判断基準は海上作業の有無によるものとし、海上作業がある場合は、補正係数を乗じるものとする。

また、現場条件や施工内容により、別途計上できるものとする。

表－3 工種区分別の共通仮設費率補正表

工種区分		補正係数
漁港漁場関係工事	浚 渌 工 事	1.28
	構 造 物 工 事	1.68

注) 海岸工事（水産庁所管）について、海上作業がある工事は、別途計上するものとする。

③ 共通仮設費率補正の計算

共通仮設費率 = 共通仮設費率（Kr）× 海上輸送に要する補正係数 + 施工地域、工事場所による補正値
 （小数第3位四捨五入）

2) 積上げ計算による部分

(1) 積上げ計算による額の算定

現場条件等を的確に把握することにより、必要額を適正に積上げるものとする。

(2) 条件明示

安全対策上、重要な仮設物等については、設計図書に条件明示する。

4-4-2 施工方式

1) コンクリートの種類

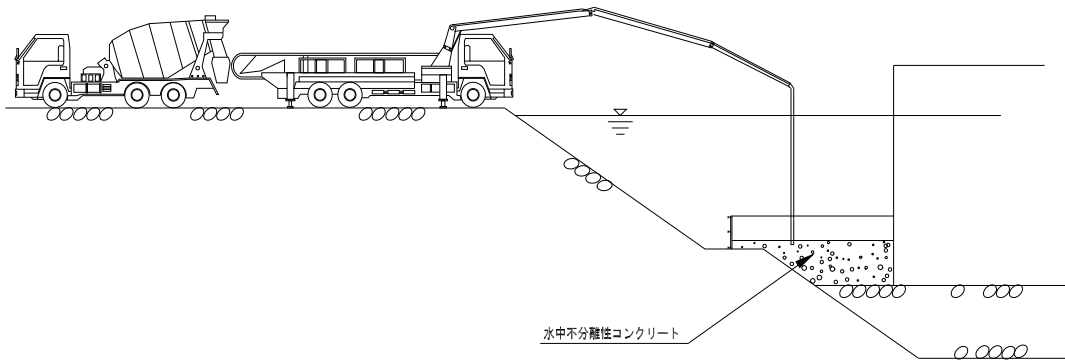
コンクリートは、水中不分離性コンクリートとする。

2) 施工方法

(1) 水中不分離性コンクリート打設

水中不分離性コンクリートの打設方式は、コンクリートポンプ車による打設を標準とする。

[打設概要図]



4-4-3 施工歩掛

1) 代価表

(1) 配管設置撤去

「本節 4. 3 場所打式、3. 水中コンクリート工、3-6-3 施工歩掛、2) 代価表、(3) 配管設置撤去」を適用する。

(2) 配管損料

「本節 4. 3 場所打式、3. 水中コンクリート工、3-6-3 施工歩掛、2) 代価表、(4) 配管損料」を適用する。

(3) 水中不分離性コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10m³当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	設 計 日 当 打 設 量			摘 要
			50m ³ 未滿	50m ³ 以上 100m ³ 未滿	100m ³ 以上	
			標 準 日 打 設 量			
			31	69	180	
水中不分離性コンクリート		m ³	10.6			割増しを含む
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間
潜水士船	// D270PS型 3~5t吊	//	0.1	0.1	0.1	就業8H
世話役		人	0.3	0.1	0.1	
特殊作業員		//	0.4	0.2	0.1	
普通作業員		//	0.9	0.4	0.2	
普通作業員	水中不分離性 混和剤現場添加	//	(0.3)	(0.2)	(0.1)	注)2. 参照
雑材料						

注) 1. 水中不分離性コンクリートの単価は、水中不分離性混和剤費用を含む。

なお、コンクリート混練後の清掃等が必要な場合は別途計上する。

2. 水中不分離性混和剤等を現場で添加する場合に計上する。

3. 水中不分離性コンクリートは、雑材料の対象としない。

4. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は別途計上する。

(2) 受枠設置・撤去

①海上受枠設置・撤去 30m当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	海底面からの受枠の高さ (H)				摘 要
			4m	6m	8m	10m	
笠 木 丸 太	末口15cm×1.8m	m ³	0.4				
杭 丸 太		〃	2.3	3.8	5.5	7.6	
筋 違 丸 太		〃	1.1	1.6	2.0	3.8	
足 場 丸 太	末口10cm×7.0m	〃	0.9				
揚 錨 船 運 転	鋼D t 吊	日	1.8	2.1	2.6	3.6	就業8H
台 船 〃	鋼200 t 積	〃	1.8	2.1	2.6	3.6	〃
引 船 〃	鋼D 250PS型	〃	1.8	2.1	2.6	3.6	運2H/就8H
型 枠 工		人	1.1	1.3	1.6	2.2	
普 通 作 業 員		〃	14.5	17.0	21.0	29.0	
雑 材 料							

注) 揚錨船は、対象となるポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の船団構成に記載されている規格を適用する。

②陸上受枠設置・撤去 30m当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	受枠の高さ (H)			摘 要
			0m	2m	4m	
笠 木 丸 太	末口15cm×1.8m	m ³	0.4			
杭 丸 太		〃	—	1.4	1.8	
筋 違 丸 太		〃	—	0.4	0.5	
足 場 丸 太	末口10cm×7.0m	〃	—	0.9		
ラフテレーンクレーン	(船)25 t 吊	日	—	0.6	0.6	標準運転時間
ト ラ ッ ク	8 t 積	〃	0.4	0.4	1.0	〃
型 枠 工		人	0.1	0.4	0.6	
普 通 作 業 員		〃	1.6	5.6	8.4	
雑 材 料						

注) 陸上用木材の単価は、「1節 浚渫・土捨工、6. 排砂管設備工、6-1-6 施工歩掛、2) 単価、(1) 木材の単価」により算出し、その3割減とする。

(3) 排砂管設置・撤去

代価表中の船種・規格区分は以下による。

[1] ポンプ浚渫船鋼D2, 250~8, 000PS型の場合

[2] ポンプ浚渫船鋼D1, 350PS型、およびバージアンローダ船、空気圧送船の場合

①排砂管(海底管)設置・撤去 60m当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	船 種 ・ 規 格 区 分		摘 要
			[1]	[2]	
揚 錨 船 運 転	鋼D t 吊	日	0.5		就業8H
台 船 〃	鋼200 t 積	〃	0.5		〃
潜 水 士 船 〃	D270PS型 3~5t吊	〃	0.5		〃
引 船 〃	鋼D 250PS型	〃	0.5		運2H/就8H
引 船 〃	鋼D 200PS型	〃	0.5		〃
ラフテレーンクレーン	(船)25 t 吊	〃	0.7	0.5	標準運転時間
空 気 圧 縮 機	5.0m ³ /min	〃	0.5		
普 通 作 業 員		人	9.4	6.5	
雑 材 料					

注) 揚錨船は、対象となるポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の船団構成に記載されている規格を適用する。

②排砂管(海上受枠上)設置・撤去 60m当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	船 種 ・ 規 格 区 分		摘 要
			[1]	[2]	
揚 錨 船 運 転	鋼D t 吊	日	1.8	1.5	就業8H
台 船 〃	鋼200 t 積	〃	1.8	1.5	〃
引 船 〃	鋼D 250PS型	〃	1.8	1.5	運2H/就8H
普 通 作 業 員		人	11.2	9.4	
雑 材 料					

注) 1. 番号上の排砂管は、海上受枠上として算定する。
2. 揚錨船は、対象となるポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の船団構成に記載されている規格を適用する。

「漁港漁場関係工事積算基準（令和4年度版）」正誤表（追加分）

- ・上巻 第1部 P目次-4
 - ・8節 消波工
 - ・「3. 洗掘防止工……………3-8-20」誤り→「…3-8-21」正
 - ・「4. 消波ブロック工（海岸）……………3-8-21」誤り→「…3-8-22」正

- ・上巻 第1部 P1-1-2
 - ・「4. 直接工事費の施工歩掛の適用範囲」誤り→「5. 直接工事費の施工歩掛の適用範囲」正

- ・「上巻 第1部 漁港漁場関係事業請負工事費積算基準
第2章 工事費の積算
2節 間接工事費」の目次中
 - ・「2-11 イメージアップ経費」誤り→「2-11 現場環境改善費」正
 - ・「2-11-1 イメージアップ経費の内容」誤り→「2-11-1 現場環境改善費の内容」正
 - ・「2-11-2 イメージアップ経費の構成」誤り→「2-11-2 現場環境改善費の構成」正

- ・上巻 第1部 P3-1-3
 - ・1-5-1 浚渫方法、浚渫船種の選定フロー
 - ・「1-5-3 浚渫船の船種別標準最大作業水深」参照 誤り
 - ↓
 - ・「1-5-4 浚渫船の船種別標準最大作業水深」参照 正

- ・上巻 第1部 P3-1-24
 - ・3-1-4 グラブ浚渫船（普通地盤用）の規格選定
 - ・2) 標準グラブ規格の選定フロー
 - ・表③
 - ・「土区」誤り→「土厚区分」正
 - ・記載なし 誤り→「4m未満」正

- ・上巻 第1部 P3-4.1-(16)
 - ・補足資料8 ケーソン据付用上蓋取付および取外の計上
 - ・表 ケーソン据付用上蓋取付・取外 1函当り

- ・上蓋使用料：単位：m 誤り→m² 正

- ・上巻 第1部 P3-4.6-19
 - ・2-3-4-3 施工歩掛
 - ・2) 導材の賃料
 - ・注)
 - ・「積算基準第3章…」誤り→「積算基準第5章…」 正

- ・上巻 第1部 P3-4.6-(4)
 - ・「2-3-3-2-3 施工歩掛」誤り→「2-3 施工歩掛」正

- ・上巻 第1部 P3-5-(1)
 - ・参考資-1 袋詰コンクリート工
 - ・1. 袋詰コンクリート工
 - ・「…参考資料-3 袋詰コンクリート工」を適用する。誤り
 - ↓
 - ・「…参考資料-4 袋詰コンクリート工」を適用する。正

- ・上巻 第1部 P3-6-(10)
 - ・[現場条件により最低規格以外を選定する場合]
 - ・①バッチ式 (1.0m³) を採用する場合
 - ・「…この場合、標準歩掛6節…」誤り
 - ↓
 - ・「…この場合、積算基準…」正

- ・上巻 第1部 P3-6-(11)
 - ・5. 上部工における差筋
 - ・「標準歩掛 6節上部工…」誤り
 - ↓
 - ・「6節上部工…」正

- ・上巻 第1部 P3-9-(3)
 - ・2) 代価表
 - ・(1) 直接投入以外の場合
 - ・①裏込材投入 (積込・運搬) 1000m³ 当り
 - ・「… (積込・運搬) を適用する。」誤り

↓

・「… (積込・運搬)」を適用する。正

・下巻 第1部 P3-15-6

・ 6) 代価表

・ (2) クレーン拘束 一式当り

・注) …「1節 直接工事費、補足資料-1 直接工事費、9, 標準作業能力、単体魚礁製作」誤り

↓

・ …「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、補足資料-1 直接工事費、9, 標準作業能力、単体魚礁製作」正

・下巻 第1部 P3-18-29

・ 3-2-5 鋼管杭・鋼管矢板打設

・「5-2-5-1 代価表作成手順」誤り

↓

「3-2-5-1 代価表作成手順」正

・下巻 第1部 P4-1-(4)

・ 6. 灯浮標設置 (撤去)

・灯浮標設置 (撤去) 個当り

・注) 2.

・「…3. 本体ブロック据付工 作業船・機械の組合せ」誤り

↓

「…3. 本体ブロック据付工 3-1-4 作業船・機械の組合せ」正

・下巻 第1部 P5-2-4

・ 2-4-2 施工歩掛

・ 1) 使用機械の規格選定

・注) 1.

・…「第3章 16節 仮設工…」誤り

↓

…「第3章 18節 仮設工…」正

・下巻 第2部 P2-1-17

・ 3-6 旅費

- ・「第1編 2節 2-5 旅費の算定」…誤り
 - ↓
 - 「第1編 1節 2-5 旅費の算定」…正

- ・下巻 第2部 P2-1-24
 - ・4-7 旅費
 - ・「第1編 2節 2-5 旅費の算定」…誤り
 - ↓
 - 「第1編 1節 2-5 旅費の算定」…正

- ・下巻 第2部 P2-1-29
 - ・5-6 旅費
 - ・「第1編 2節 2-5 旅費の算定」…誤り
 - ↓
 - 「第1編 1節 2-5 旅費の算定」…正

- ・下巻 第2部 P2-1-(1)
 - ・参考資料-1 簡易検潮器および量水標による検潮
 - ・1-2 調査フロー
 - ・注) 2.
 - ・「3. 汀線測量…」誤り→「5. 汀線測量…」正
 - ・「…3-4 汀線測量…」誤り→「…5-4 水準測量…」正
 - ・「…3-4-2 水準測量」誤り→「…5-4-2 水準測量」正

- ・下巻 第2部 P2-2-18
 - ・4-8 旅費
 - ・「第1編 2節 2-5 旅費の算定」…誤り
 - ↓
 - 「第1編 1節 2-5 旅費の算定」…正

- ・下巻 第2部 P2-4-2
 - ・2-2-1 調査業務費
 - ・2) 諸経費
 - ・…「第2編 2節 2-4 諸経費」に準じて…誤り
 - ↓
 - ・…「第2編 1節 2-4 諸経費」に準じて…正

・下巻 第2部 P2-4-3

・2-3 磁気探査業務（工事）費の積算方式

・1) 諸経費

・諸経費率は「第2編 2節 2-4 諸経費 別表第1」により…誤り

↓

・諸経費率は「第2編 1節 2-4 諸経費 別表第1」により…正

・下巻 第2部 P2-6-(4)

・2-3 調査費の積算方式

・1) 諸経費

・諸経費率は「第2編 2節 2-4 諸経費」により…誤り

↓

諸経費率は「第2編 1節 2-4 諸経費」により…誤り

・下巻 第2部 P3-1-24

・3-13 旅費

・「第1編 2節 2-5 旅費の算定」…誤り

↓

「第1編 1節 2-5 旅費の算定」…正

・下巻 P単-58

・クレーン付台船

・「クレーン付台船（借上）運転1日当り 就業8時間」の表が二つあり重複している。